

青根水源かん養林

所在地：神奈川県相模原市緑区青根

301.92ha（牧野財産区）、124.91ha（青野原財産区）

●概要

昭和 22 年、水力発電や水源開発を目的とした相模ダムが、そして昭和 30 年には、戦後復興期の電力増強や、更なる水道用水の確保を目的とした道志ダムが完成しました。しかし、ダム上流部の青根地区は、戦争中や戦後の一時期の乱伐により森林は荒廃していました。

そこで、水源かん養林の持つ貯水機能や土砂流出防止機能に着目し、旧津久井郡藤野町牧野や同津久井町青野原の地元住民の協力を得ながら、昭和 35 年度から 10 年間をかけて植林を行いました。昭和 45 年以降は下草刈・除伐・枝打ち等の保護育成作業を行い、現在では水源かん養機能をはじめとする高い※公益的機能を有する森林へと成長しています。この青根水源かん養林は、神奈川県内における最上流の集水区域に位置しており、生活排水が少なく、恵まれた水質を保っており、ここで育まれた水は県営水道の給水区域をはじめ、横浜市、川崎市、横須賀市に運ばれています。

※森林の公益的機能とは、生物多様性の保全や、地球環境の保全、土砂災害の防止、快適な環境の形成など、様々な機能を指します。

※青根水源かん養林は、神奈川県、横浜市、川崎市、横須賀市の各水道事業者から費用の一部を負担していただき、保育・整備を行っています。



現在の青根水源かん養林



荒廃していた当時の青根地区

相模川上流域の水源かん養林への協力



企業庁では、道志川に建設したダムや発電所の上流域にあたる山梨県南都留郡道志村に、横浜市が所有している道志水源かん養林の維持管理費用の一部を負担しています。

また、山梨県上野原市西原地区の森林整備（約 10ha）に協力し、費用の一部を負担しています。

※写真は道志水源かん養林で撮影されたものです。

🌲 新たな取組「かながわ森の町内会事業」



サポーター企業等が購入、使用する「間伐に寄与する紙」

通常の紙代

間伐促進費（間伐材を製紙原料として有効活用するための費用）紙 1 kg 当たり 15 円

平成 22 年 4 月から環境 NPO「オフィス町内会」と協働して県内森林の健全な育成を目的とする「かながわ森の町内会事業」に取り組んでいます。間伐促進費を加算した印刷用紙を刊行物等に使用することで、森林における間伐費用（間伐材を製紙原料として有効活用する）の一部に充当し、神奈川県内の森林の健全な育成に貢献しています。

平成 23 年 3 月には山北町で 0.23ha、愛川町で 0.6ha の間伐を行いました。

「かながわ森の町内会」では、サポーター企業を募集しています。詳細は事務局までお問い合わせください。

■かながわ森の町内会事務局 企業庁企業局利水電気部発電課内：045-210-1111(代表)内線 7297